

長久手市タウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和6年7月6日(土曜日) 午前10時30分～
- 2 開催場所 西小校区共生ステーション
- 3 参加者 9名
- 4 内容 市長あいさつ(市政報告)、市民の皆さんと市長のフリートーク
- 5 主な意見(要点筆記)

(学校における作業療法士の配置)

学校における作業療法士の配置をご検討ください。作業療法士は、身体発達から心身の状態を診る脳と身体と環境を整える専門家です。岐阜県飛騨市では、市が作業療法士を雇用し、地域作業療法や学校作業療法室というシステムを作り、寄り添う学び、虐待、ひきこもりにも対応をするなどの実績があります。教員の負担軽減にもなり、財源は、ふるさと納税を活用しています。長久手市でも、作業療法士の配置を検討してください。

⇒市長:本市では、児童発達支援センターに作業療法士を配置しています。全ての子どもたちへの支援、切れ目ない支援として事例を確認します。学校における作業療法士の配置について、ご提案を頂き、ありがとうございます。

(子どもたちの食の安全)

子どもたちに安心安全なものを食べさせることが重要です。安心安全な給食は心身の発達に影響します。本市の休耕地を活かし、長久手の地場産を増やせば、給食に役立てれると思います。

(人材育成)

本市は、大学が多く、研究所もあります。若い人が集まっています。施設(大学・研究施設等)を活用し、市が人材育成をしてほしいです。「まちが人を育て、人がまちを創る」と考えます。

(文化芸術の活用)

本市は、学生が多く、芸術大学があり、若くてアーティスティックなまちを誇りに思います。文化の家は、人口6万人の市にとっては、贅沢な施設であるとの意見もありますが、箱ものではなく、独自の企画をしており、長久手の強みでもありますので、その強みを大切にしてほしいです。

(市民の声を反映)

市民の声を聴いてもらえるのがうれしいです。市に声を届けて、変化があることはうれしいです。

(古民家の移築)

古民家の移設について、教育委員会の進捗状況はどのようなようですか。

⇒市長：長久手市文化財保護審議会に諮問し、7月に、長久手市文化財保護審議会にて、古民家の保護及び活用方法について、議論されます。その答申内容を受け、教育委員会が、事業の方向性を審議します。

（市役所正面玄関の銅像）

文化財保護審議会に関連して、市役所正面玄関に、裸婦像・裸体像がありますが、違和感があります。この銅像が文化財であるのか、市の顔としてふさわしいものか、考えてほしいです。

（スケートパーク）

スケートボード施設の建設場所については、スポーツの杜では需要がないと思います。場所の提案をしますので、検討をお願いします。

⇒市長：音の問題も考慮しなければならないので、提案も参考にします。

（デマンド交通）

デマンド交通は、技術も制度も流動的なので、時間をかけて検討してほしいです。

（制度の間の支援）

作業療法士の提案がありました。制度の間で苦勞している人がいます。丁寧に支援していく必要があります。主体的な市民活動への支援をお願いします。

（稼ぐ力）

中長期的に、稼ぐ力が必要です。市内企業が近隣市に工場を移転しました。工場跡地にも住宅ができ、人が増え、若く活気のあるまちとなり、魅力的ですが、住宅・人口の増加は、歳出も増えます。本市には、企業誘致のセクションが必要と考えます。優良企業が市内にあることが、結果、中長期的に稼ぐ力となります。

短期的には、固定資産税です。市の魅力が上がれば、固定資産税や、他の収入が増えます。事業総点検のお話がありましたが、単純に、事業等を削減すると、市の魅力が落ちるので、バランスが難しいと思います。

名古屋市では、ホールや街路灯までネーミングライツをしています。市の職員には、稼ぐ力を意識してほしいです。

（参加者の感想①）

今回は大変貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。

市長と直接市政について話し合う場合は、熱が伝わり私自身ももっと市政に主体性をもっと関わってきたいという気持ちが大きくなりました。

長久手市は福祉も充実し、近隣市民からもとてもうらやましがられます。しかし、長期的に見据えると厳しい岐路にも立たされていることの危機感が肌で感じられました。

作業療法士の可能性について、今の市で抱えている障壁について全体のビジョンを描く必要があり、課を越えた取り組みが必要というご意見を聞いて、これこそ作業療法士の力量発揮できる部分だと感じました。ぜひ、飛騨市プランからエッセンスを取り入れ長久手らしい施策に活かしていただきたいと思いました。

(参加者の感想②)

市長さんを交えてのタウンミーティング、良い試みと思いました。